

御前山ビオトープ通信

平成28年4月18日

第49号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jpホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>

【案内図】



目次

1. 山桜の記念植樹 4月14日(木)
2. 御前山ダム湖周辺を歩く会 4月17日(日)

1. 山桜の記念植樹

御前山ダムが完成した平成23年から、ダム湖の周りを日本一の山桜の名所にしようと地域の皆さんが中心となって植樹に取り組んできました。今年は6年目になりますが、4月14日(木)御前山小学校6年生による記念植樹を行いました。

参加者は児童生徒20名に先生2名と御前山環境センター、地元集落、那珂川沿岸農業水利事業所の皆さんです。大人の指導と手伝いを受けながら子供達は一生懸命に取り組み、ヤマザクラ



山桜の植栽、皆で頑張りました

約

80本を桧山大橋近くの斜面に植栽しました。

植栽に参加した子供からは「来年は咲かな」「大きくなったら一緒に見に来たらいいね」等の声がありました。

一人インフルエンザ

で欠席した女の子がいて、その子がとてもヤマザクラの植栽を楽しみにしていたらしく参加できずに残念がっていたと聞きました。クラスの友達がその子のネームプレート(木製)をちゃんと持ってきていて、その子の分まで女友達が植栽してネームプレートを付けていました。御前山小学校の武藤校長先生より会長宛てにお礼のハガキが届きました。(左)



前年より度は児童のヤマザクラ植樹の支援
をいただき、誠にありがとうございました。子供たちから
「来年は咲かな」「大きくなったら一緒に見に来たらいい
ね」等の声がありました。その子がとてもヤマザクラの植栽
を楽しみにしていたらしく参加できずに残念がっていたと
聞きました。クラスの友達がその子のネームプレート(木製)
をちゃんと持ってきていて、その子の分まで女友達が植栽
してネームプレートを付けていました。御前山小学校の武
藤校長先生より会長宛てにお礼のハガキが届きました。(左)

平成28年4月14日
草野

2. 御前山ダム湖周辺を歩く会

平成28年4月17日(日)恒例のダム湖周辺を歩く会を開催しました。

今回は雨天の天気予報で直前の参加取りやめがあったにもかかわらず、年々申し込み者は増えて、当日の参加者数は160名以上でした。

9時過ぎにダム直下の公園に集合し、主催者等の挨拶と準備運動をして早速出発です。

主催者等からの配布資料として、那珂川沿岸農業水利事業所から御前山ダムの説明資料、常陸大宮市御前山総合支所からは歩くルートの説明資料、御前山ダム環境センターからはダムや希少動植物、歩くコースにちなんだ問題がクイズ形式でできました。

今回は皆が興味をもって楽しく歩けるように、茨城生物の会の藤田先生とNPO美しい田園21の清野が案内役を務めました。

コイノボリの鱗模様を
思わせる洪水吐越流



例年は山桜が満開の季節ですが、今年はかなり早く、大半は葉桜状態となりましたが、新緑のパッチワークが鮮やかな春景色です。

ポイントでの見所と説明内容は、

- ・御前山の山桜は3種類あり、エドヒガンサクラ、ヤマサクラ、カスミサクラの順番にすこしずつ咲いてくる。現在咲いているのは葉より遅れて花が開いて花が霞んでみえるカスミサクラが多いこと。沿道にはニリンソウ、アズマイチゲ、ヤマブキ、ヤマツツジ、ムラサキケマン、ヒメオドリコソウなど春の草花があちらこちらに咲いていて名前の由来などの説明を受けました。また歩いている道路は原石山からダム材料(石と土)を運ぶための工事用道路、渡った橋は昔湛水敷地内の旧道にあった橋と同じ名前をつけたこと。湛水敷地内の希少動植物を移植したビオトープや子供たちによる山桜の移植活動など、沿道の植物からダム、自然環境などについての幅広い説明を受け、子供を含めて皆が興味深げに聞いていました。幸い雨も降らず、約4km

の道を2時間余りかけてのんびりと歩き、春の御前山の新緑を満喫できました。ゴール地点では地元の婦人グループの皆さんが餅つきの用意をしてくれて、子供等の餅つき体験、つき立ての餅を皆で味わいました。国営事業所もダム解放として、管理所などでダムの視察説明があり、多くの参加者がありました。

参加者には地域おこし協力隊や、説明にあったビオトープを是非見学したいというグループもあり、午後の現場見学を含めて様々な交流の場ともなりました。

ダム湖を背景に集合



子供たちが元気に先頭を歩きます



ダム湖対岸の山桜

